

集団的自衛権を考える市民集会

# 迷走する 集団的自衛権と 日本の民主主義

講演と質問



柳澤協二氏 元防衛省防衛研究所長・元内閣官房副長官補

1946年生まれ。1970年東大法学部卒業後防衛庁入庁、運用局長、人事教育局長、官房長、防衛研究所長を経て、2004年～2009年、小泉・安倍・福田・麻生政権で内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）として、北朝鮮の核・ミサイル実験、尖閣警備、自衛隊のイラク・インド洋派遣、海賊対策などに従事。第1次安倍政権では、集団的自衛権などを議論する「安保法制懇」の事務局に参加。退官後、メディアで沖縄海兵隊の抑止力に関する疑問を提起。イラク戦争と日本の政策決定を検証。立憲主義の破壊に反対する「国民安保法制懇」のメンバーとして、多数の講演を行い、第2次安倍政権が進める集団的自衛権の行使を容認する「憲法解釈の見直し」に批判的立場で発言を続けている。現在、NPO法人国際地政学研究所理事長、同・新外交イニシアティブ理事。著書に「抑止力を問う」（対談集・かもがわ出版）、脱同盟時代（対談集・かもがわ出版）、「検証・官邸のイラク戦争」（岩波書店）、改憲と国防（共著・旬報社）、「亡国の安保政策」（岩波書店）など多数。

日時

2014年(平成26年)

10月10日金

18:30～20:30

(開場 18:00)

場所

かでる2・7大ホール

(札幌市中央区北2条西7丁目)

参加費無料  
事前申込不要

今年7月1日、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定がなされました。

しかし、

- ・なぜ今、集団的自衛権が必要なのか
- ・今後、具体的に何が起こるのか
- ・そのデメリットは何なのか

といった、私たちが本当に知りたいこと、主権者として知らなければならないことは、ほとんど語られませんでした。

安倍首相はなぜこれらのことときちんと語らないのか？  
そして集団的自衛権の真実とは？

最近まで政権の中核を担っていた立場から集団的自衛権の行使容認に反対している柳澤さんに、鋭く、わかりやすく、語っていただきます。

主催 札幌弁護士会

札幌市中央区北1条西10丁目 札幌弁護士会館7階 TEL 011-281-2428 FAX 011-281-4823